

エビデンスに基づいた支援を地域に育む個別指導特化型福祉事業

横須賀市長沢 1-32-11 第5 新星ビル 302 号室
児童発達支援事業・放課後等デイサービス トータスキッズ
管理者 高橋嘉誉

1. はじめに

トータスキッズでは、学術的に効果検証のなされた行動分析による知的障害と発達障害児の個別指導及び保護者教育、それを運用することのできる地域人材育成のための支援者学習会の開催、多数の地域活動団体の協力による支援と理解の輪を広げる地域イベントの開催、これらを含めた活動の講演会や実践報告を全国で行うことにより、エビデンスに基づいた支援を地域に育む活動を行なっています。



2. 事例や取り組みの紹介

知的障害及び発達障害の子どもへの個別指導

主に臨床心理学の一つである応用行動分析（ABA）に基づき、行動前の出来事を操作することで、適切な行動を引き出し、その直後にご褒美（よいこと）を提示することにより適切な行動を増加させる指導を行なっています。この行動分析に基づき、トータスキッズでは、マッチング・動作模倣といった学習基盤から一人一人の発達段階に合わせた個別指導の課題を組み立てています。



指導にあたっては、まず、家庭訪問による行動観察と新版 K 式発達検査 2001 などを用いたアセスメントを行います。アセスメント後は、慶應義塾大学と自閉症支援の専門機関 NPO 法人 ADDS が共同開発した発達障害児に対するエビデンスに基づいた包括的早期療育プログラムをベースに課題を設計。文科省の研究費による発達障害児支援の地域実装プロジェクトの一環であるこのプログラムは、発達を 5 領域にわけそれぞれ 600 を超える課題から構成されており、それが IT 化されているというもの。実装にあたっては、中心となる指導者が専門家から講義および実践の研修を受けています。このほか、アメリカの bitsboard という学習支援アプリを独自に改良したタブレット学習や viscuit、scratch といったプログラミング言語も指導に取り入れています。

保護者教育・療育相談

任意団体「トータスキッズ」として活動していた 2010 年から保護者の交流および学習の機会の提供と地域の療育相談を行なっています。その代表事例である「自閉っ子 & 発達障害の子を持つママ交流会・パパ交流会」では、行動分析に基づく「家庭療育講座」「問題解決ワークショップ」などを行なっており、7 年目となる 2020 年 2 月にはペアレントメンターの第一人者でもある四国学院大学の野崎晃広教授をお招きし、地域支援につながる公開セミナー



を開催する予定です。また、代表の高橋が支援者でありかつ障害児の保護者でもあることから、利用者はもちろん、地域の保護者にも日々療育相談を行なっております。

支援者研修（講義・ロールプレイ・ケーススタディー・ワークショップによる）

療育歴12年の代表の高橋が講師となる支援者研修では、通常の講義のみの研修とは違い、参加者全員で行うロールプレイによる実践研修や、現場の事例をその場で解決するワークショップが特徴で、次の日からそれぞれの現場で使える研修を行っています。2019年8月に行った支援者学習会2Daysには、横須賀のみならず三浦・藤沢から公立小学校の支援学級の教員や保育園の園長先生など、10名の支援者が参加。参加者の満足度は100%、アンケートには「有償でも参加したい。周りにも紹介したい」というコメントもありました。



地域づくり活動

代表事例の「いろいろな子どもと家族のお祭り」は今年5年目で総来場者数634名。「1. 互いの支援と配慮があれば多様な人が共に過ごすことのできる社会」「2. どんな人でも「ありがとう」と「笑顔を生み出す」ことのできる役割を持った社会」「3. 地元の資源を生かし、育む社会」というこれからの未来に願う社会のモデルづくりを目的に、現実の社会のように、障害児を含む子供達とその家族がダンスやパラバルーンなどのアクティビティー、お昼ご飯を一緒に食べる等、横須賀市ジュニアリーダーズを始め、地域の人たちと活動を共にし、相互理解と親睦を図っています。実施にあたっては、毎回イベント協力者に発達障害とその支援に関する説明を行い、第三者の理解者育成につなげています。



講演会活動

川崎、大阪、香川など全国で上記の取り組みの講演会や実践報告を行なっています。



3. 考察

知的富裕層の少ない地方では、発達障害を含むハンディを持つ子供に対して教育によって子供の可能性を広げられるという観点が希薄です。そうした地方都市では「教育支援によって子供は変わらない→見守り型の長時間預かりのサービス」が一般的となっています。トータスキッズでは、個の可能性の最大化を目指し、事業およびその母体であるNPO法人ファミリアの公共性の高い活動への助成金、そして、専門家および地域の個人・活動団体の人的資源を生かし、少ないコストで最大の価値を生み出す地域発信型の福祉のモデル作りに取り組んでいます。

4. おわりに

トータスキッズは、エビデンスに基づいた支援を地域に育む個別指導特化型福祉事業により「ともに生きる」の実践モデルを横須賀、そして、神奈川から日本に発信していきます。